

# 泌尿器科学

## 担当指導医師

### ●本院

教授：小原 航、阿部 貴弥  
准教授：杉村 淳  
講師：高田 亮、兼平 貢、加藤 陽一郎  
助教：加藤 廉平、松浦 朋彦、前川 滋克、小野田 充敬、五十嵐 大樹  
非常勤講師：後藤 康文、川村 繁美、高山 美郷、片桐 豊雅、小島 祥敬

## 基本方針：

1. 担当指導医のもと準担当医として実際の診療に携わる。すなわちクリニカルクラークシップ形態により実習を行う。
2. これまでの診療見学型実習をふまえ、より臨床に即した実践的な内容（診療参加型）となる。具体的には、学力や能力により、患者さんに対する問診・診察・検査・手術等を分担する。
3. 実習に際しては、診療チームの一員となることを即座に認識し、医師や medical staff との協調をはかりながら、積極的に診療に参加する。また、当科臨床実習に参加している4・5年生にも、経験を元にした助言と指導を行う。
4. 患者さんやその家族に接する際には、相互の信頼関係を確立するよう努める。なお、医の倫理を十分にわきまえ、自己判断での行動は慎むよう注意する。
5. 日常診療の変遷や研究面での最新の話題をも広く吸収し、泌尿器科学の現状や特色を自分なりに的確に把握する。
6. 特定分野について重点的に実習することを希望する場合は、予めその旨を進言する。
7. 将来医師になる身として、現在自分に足りない面や自分の適正等を、実習を通して自問自答することも重要である。

## 実習内容：

### 1. 病棟実習

実習期間を通し、各入院担当チームのいずれかに配属し、可能な範囲でチームと診療行動を共にする。回診、処置、検査、手術など主治医が行う医療行為に実際に携わり、侵襲性の低い医療行為（創部消毒、ガーゼ交換、導尿、抜糸、手術助手、静脈採血、尿流量検査、膀胱洗浄等）を主治医の指導監視の元で行う。さらに尿路性器腫瘍、尿路結石、尿路性器奇形、副腎疾患、腎不全、尿路感染症等の主要疾患から、受け持ち患者の内一人についてレポートを作成し、各クールの最終週のいずれかの日にグループ内で発表し討論に参加する。また、抄読会（週1回）、症例検討会（週1回）、画像診断カンファランス（週1回）、教授回診（週1回）などにも参加する。

## 2. 外来実習

担当指導医の外来診療日に、新患外来予診の他、外来での処置、検査（尿沈渣、検鏡、膀胱鏡、精液検査、超音波検査、X線検査、ストーマケア）、外来手術（体外衝撃波結石破碎術を含む）の助手を受け持つ。

## 3. 透析室実習

急性、慢性腎不全の病態と透析療法の原理を理解し、血液透析の実際を経験する。指導医のもとで、急性例では透析用カテーテル挿入の介助、慢性例では内シャントへの穿刺を行う。

## 4. その他

関連各科との合同カンファレンスや、学内外の研究会、学会にも機会があれば参加する。また当科における実験や研究についても希望により参加する。

### 授業に使用する機械・器具と使用目的

使用区分	使用機器・器具等の名称	個数	使用目的
診断用機械	尿路性器模型	2	診察に際する解剖構造を把握する。
診断用機械	前立腺直腸診模型	4	診察の所見採取に役立てる。
診断用機械	パソコン・デジタルカメラ	2	検査データ・教材を提示する。
診断用機械	光学顕微鏡	1	病理組織所見を検証する。
診断用機械	ペンライト	—	陰嚢透光検査に用いる。
診断用機械	聴診器	—	腹部・シャント等血管雑音を聴取する。
診断用機械	検尿・遠心分離装置	1	尿一般検査・沈渣材料の作成法を学ぶ。
診断用機械	超音波診断装置	3	泌尿器超音波診断・検査法の実際を学ぶ。
診断用機械	X線診断装置	2	尿路X線検査の実際を学ぶ。
診断用機械	尿路内視鏡	8	尿路内視鏡検査の実際を学ぶ。
診断用機械	手術用内視鏡	3	尿路内視鏡手術の実際を学ぶ。
診断用機械	内視鏡用モニター	3	内視鏡検査・手術の見学に活用する。
診断用機械	尿流動態測定装置	2	尿流動態学の実際を学ぶ。
診断用機械	陰茎径硬度測定装置	1	勃起不全の分類を把握する。
診断用機械	生検用自動穿刺装置	2	安全な生検検査法を学ぶ。
診断用機械	腹腔鏡	1	泌尿器腹腔鏡手術の実際を学ぶ。
診断用機械	体外衝撃波結石破碎装置	1	尿路結石症治療の実際を学ぶ。
診断用機械	超音波結石破碎装置	1	尿路結石症治療の実際を学ぶ。
診断用機械	血液浄化透析装置	8	血液浄化透析法の実際を学ぶ。
診断用機械	腹膜透析装置	2	腹膜透析法の実際を学ぶ。
診断用機械	臓器移植用機器	1	臓器提供・移植の実際を学ぶ。
診断用機械	密封小線源刺入装置	1	小線源治療の実際を学ぶ
視聴覚用機械	膀胱用超音波画像診断装置 ブラダースキャンシステム (BVI6100)	—	臨床実習における症例検討
視聴覚用機械	ノートパソコン (Let's note)	1	講義・臨床実習の資料作成
その他	カラーデジタル複合機 (IRC3580F)	—	講義資料・試験問題の作成